

1

JR/京成幕張本郷地区

■地区の概要

位置づけ (立地適正化計画)	地域拠点	
面積（促進地区）	37.3ha	
旅客施設（3000 人/日 以上）乗降客数	JR 幕張本郷駅	59,592 人（平成 30 年度）
	京成幕張本郷駅	16,608 人（平成 30 年度）
バス便数	幕張本郷駅	513（本/日）・片道（上下線平均）（2017 年）
生活関連施設数	7 施設	
生活関連経路延長	約 1,540m	
500m 圏人口	9,296 人	※JR 幕張本郷駅を中心に 500m 圏の範囲で算出 （2015 年国勢調査 4 次（500m）メッシュ）
500m 圏高齢者数	1,182 人	
500m 圏高齢化率	13%	
従前の基本構想から の主な変更点	・ 駅南口側は都市機能誘導区域を含むよう地区拡大 ・ 駅北口側は千葉幕張本郷郵便局を含むよう地区拡大	

※JRの乗降客数は乗車人員公表値を2倍した値 バス便数は千葉市立地適正化計画データより

■地区の特徴と課題

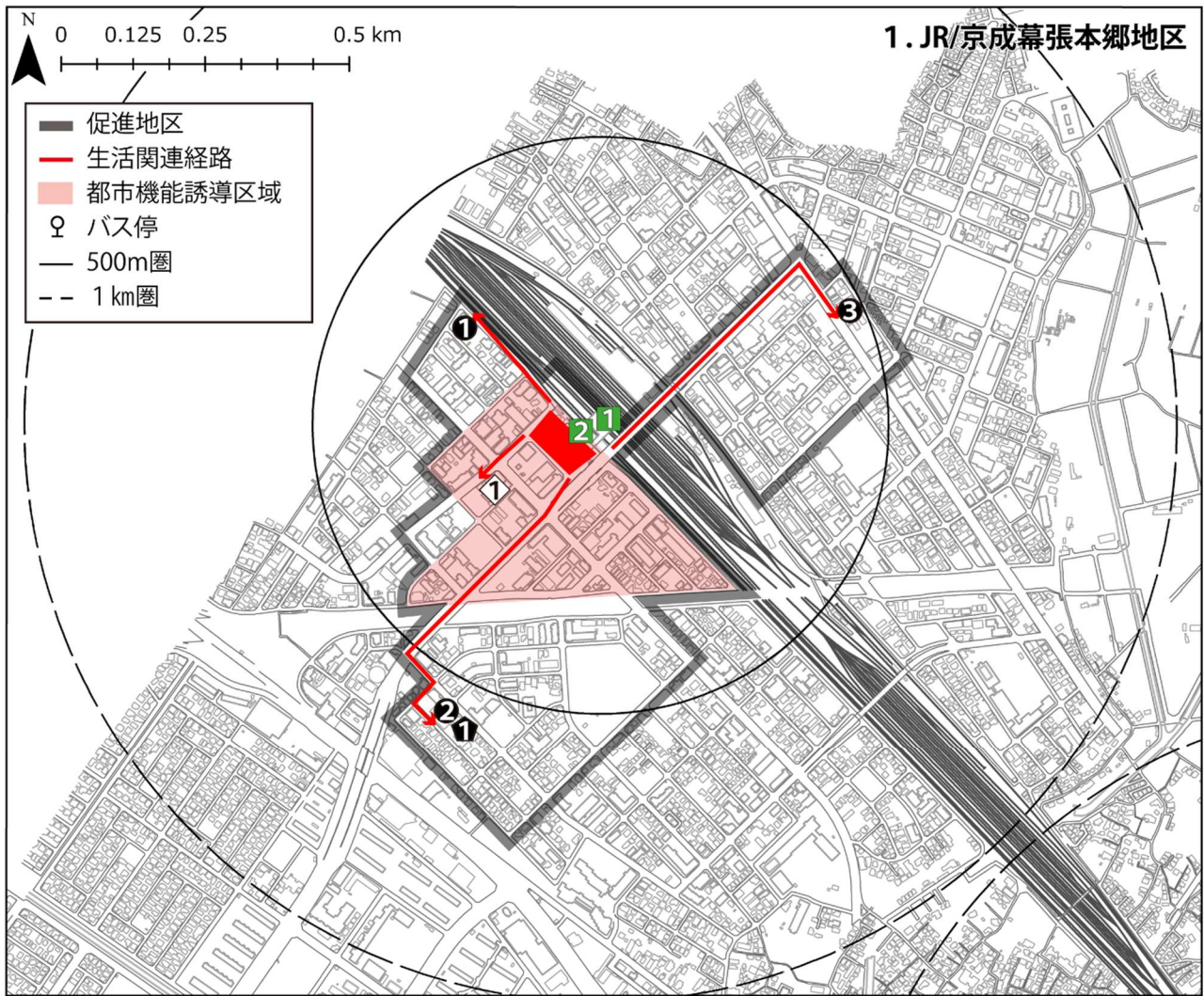
JR/京成幕張本郷地区は駅周辺の人口が促進地区のうちでも比較的多く、高齢化率の低い地区です。駅から500m程度の範囲内に、主に地域住民の利用が想定される公共施設や集会施設が立地しています。駅周辺の主な土地利用は住宅であり、南西側に都市機能誘導区域が設定されています。

JR 幕張本郷駅は乗降客数が多い駅です。バス便数も多く、特に海浜幕張・イオンモール方面へのアクセスが充実しています。

駅や道路、主な公共施設は基本的にバリアフリー化されていますが、一部視覚障害者誘導用ブロックの規格が古い箇所があるほか、生活関連施設への案内誘導や出入口の移動の連続性が十分ではない状況が見受けられ、経路・施設間の一体的なバリアフリー化が求められます。

■バリアフリー方針

- 駅から主な生活関連施設間の歩行環境の向上を図ります。
- 駅前広場の利便性を向上します。



種別	記号	施設名称
旅客施設	①	JR 幕張本郷駅
	②	京成幕張本郷駅
公共施設	①	幕張年金事務所
	②	幕張本郷市民センター ※ 1
	③	千葉幕張本郷郵便局
集会施設	①	幕張本郷公民館 ※ 1
宿泊施設	①	メイプルイン幕張

※は同一建物内



JR 幕張本郷駅



幕張本郷駅前バス停